



2021年9月13日

株式会社立花商店 生田 渉

(新) 週刊カカオニュース 52号

毎度お世話になります。カカオトレーダーの生田と申します。

今週のカカオニュースを配信させていただきます。

1. カカオ先物価格は記録的な豊作にもかかわらず52週ぶりの高値付近を維持 (9/11)

昨年の豊作期に続き、西アフリカのカカオ生産地域の状況が改善されたことで、2021/22年には記録的なカカオの収穫量となる可能性があり、それがカカオ価格の価格上昇に圧力をかける可能性がある。

世界最大のカカオ生産地であるコートジボワールは、7月から9月にかけて最も大きな天候の影響を受けました。今シーズンのコートジボワールの降水量は10年平均を19%上回っています。Gro's Navigator for Agriculture (コートジボワール産ココアの作物加重) で示される類似の降水量の年である2017年は、7~8月の降水量が10年後の平均を15%上回り、7~9月の降水量は平均を16%上回りました。同年のコートジボワールの生産量は前年比で30%増加しました。一方、ICEのNY市場ではカカオ先物は、1トンあたり2,603ドルという52週間ぶりの高値付近で取引されました。

世界第2位のカカオ生産国であるガーナでも、雨季の恩恵を受けている。8月の降雨量は過去10年間と比較して102%多かったのです。ラニーニャ現象は西アフリカのカカオ生産者に恩恵をもたらす傾向があり、来年もラニーニャ現象が発生すると予測されていることから、再び生産量が増加する可能性があります。メインクローブが同様に良好な状態で終了するためには、10月までさらに雨が降る必要がある。

国際ココア機関 ICCO によると、2020/21年シーズン(10月/9月)の世界のカカオ豆の生産量は514万トンに達し、今春の前回予想502万トンから2.4%増、昨年の473万トンからは8.7%増。

ICCOの最新の生産量予測は、ガーナの収穫量が9万トンから104万トンに修正されたことなどにより、前回の予測を11万7千トン上回りました。生産量トップのコートジボワールでは、カカオの生産量が225万トンに達し、過去最高を記録する見込みです。

2. ナイジェリアのココア生産が天候により中断、9月末に新物トレーディング開始へ (9/10)

ナイジェリアのココア収穫は最近、天候不順により中断されており、トレーダーによると、2021-22年シーズンの本格的な取引は9月末に開始されるということです。

ナイジェリアの2つの主要カカオ生産地域(南西部と南東部)では、多量の降雨によりカカオ作物の生産が遅れていると、南西部のオヨ州の州都イバダンのトレーダー、Akin Bolajoko氏は述べる。

しかし、トレーダーたちは状況が改善しつつあることを指摘しています。ラゴスにある商品取引会社 Arma Dei Trading のディレクター Basil Eteri 氏によると、9月末から本格的な取引が開始される兆しがあるとのこと。

トレーダーの Olatunde Bolarinwa 氏によると、収穫のピークは10月から11月になるとのことです。

ナイジェリアの年間カカオ生産量の70%は南西部地域で占められています。

一方、同国の商業都市であるラゴスの輸出業者は、現在、カカオ豆1トンあたりに102万NGN（ナイジェリア・ナイラ）=2,477ドル相当を支払っており、先週は970,000からNGN980,000に上昇していたので、今週は更に上昇した格好だ。

3. ガーナ COCOBOD 今年の増産への貢献を強調しながらも、気候変動を懸念 (9/11)

ガーナの20/21クロープのカカオ豆生産量は104万トンを超える見込みで、2009/2010年のシーズンに達成した100万トンを上回りました。

ガーナ・ココア・ボードのジョセフ・ボアヘン・アイドゥ最高経営責任者（CEO）は、第2021回Olam Ghana's Manager's Conferenceにおいて、カカオ豆生産量の増加は、NPP政府が実施した政策とプログラムのおかげであると強調した。同氏は、COCOBODが灌漑システムによるカカオ栽培、手作業による受粉、老朽化した農場や病気に感染した農場の修復を実施した効果を指摘しました。

「私たちは、今年の生産目標を大きく超えており、買い付け金額の為にローンが不足し、借金をしてもどこにも行けませんでした。もうすぐ、次のシーズンのためのシンジケートローンに正式に署名する予定ですが、この道筋を描くために銀行を味方につける準備をしていると言わざるを得ません」と、Olam Ghana cocoa manager conferenceで明らかにしました。

一方、ジョセフ・アイドゥ氏は、気候変動とCOVID-19がココア産業に大きな影響を与えていると述べました。彼は、カカオの木が健康なカカオポッドを实らせるためには、特定の気象条件を必要とするため、気候のバランスが崩れると、カカオの栽培、カカオ農家の生活、そしてチョコレートの品質に悪影響を及ぼすと指摘した。同氏は、業界のステークホルダーに対し、植林、適正農業規範、COVID-19プロトコルの遵守など、業界を守るためのキャンペーンを更に主導するよう求めた。

4. ブラジルのカカオ入荷量、シーズン終了に伴い減少 (9/12)

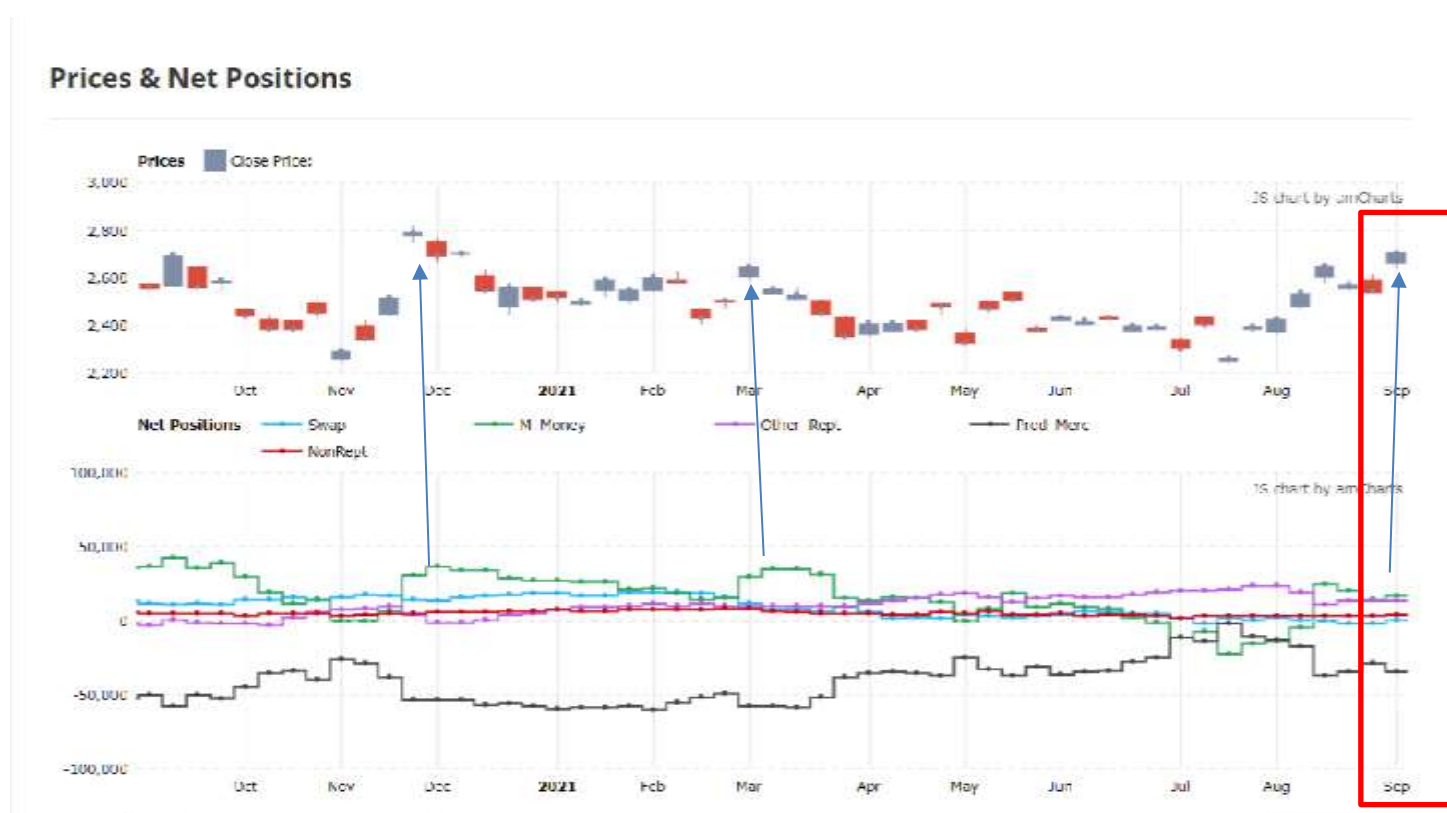
アナリストのThomas Hartmann氏は、ブラジルの生産各地からの港湾へのカカオ豆の到着量は、シーズンの終了に伴い減少したと述べた。

- 公式データとイリエウス港の数字にはまだ相違があり、2月から8月の間に上陸したカカオ豆の量は55,260トンで、政府の公式データの45,757トンとは異なります。
9,503トンの差の大部分は、6月に到着したコートジボワールからの貨物の数値の不一致によるものです。この差を明確にするにはまだ時間がかかる。
- 9月5日までの1週間のバイーア州からの到着数量は、前週の53,985袋から45,832袋に減少。
- ブラジル全体での今週の到着数量は66,333袋で前週の81,118袋から減少
- パラ州の到着量は今週17,502袋に対して、前週20,022袋でした。
- エスピリサント州は前週2,393袋に対して前週5,797袋
- ロンドニア州は前週606袋に対して、前週1,314袋
- バイーア州の農家出荷価格は2,621~2,785ドル/トン相当で先週を終えた。
- ICE-USカカオ先物市場に対するプレミアムの幅は、前週は、ICE-US市場の価格に平均で0~114ドル/トンの追加していたものが、今週は-11~+153ドル/トンを追加して販売されており、プレミアムは拡大した。

5. ファンド勢のNYカカオ先物は純買い越しポジションが増加(9/11)

ニューヨークのカカオ先物市場において、ヘッジファンド等投機筋（Managed Money）は今週、純買い越しポジションを2,974ロット増やし16,727ロットとした。毎週発表されるこのポジションレポートの取引数字は毎週火曜日まで、（今週で言えば、9月7日）の取引が含まれている。

- 総買い数量は先週より2,058ロット増加し、49,007ロットとなった。
- 総売り数量は916ロット減って、32,280ロットとなった。



6. ファンド勢のロンドン先物は純買い越しポジションが増加。過去5か月で最大に（9/11）

ロンドンカカオ先物市場において、ヘッジファンド等投機筋（Managed Money）は今週、純買い越しポジションを6,915 ロット増やして、29,425 ロットとなったことが、ICE 欧州先物取引所の発表しているデータから判明した。毎週発表されるこのポジションレポートの取引数字は毎週火曜日まで、（今週で言えば、9月7日）の取引が含まれている。

- 純売りポジションの総量は過去5か月で最も強気水準（買われ過ぎ状態）
- 買いポジションの総量は9月7日までで、前週より3,875 ロット減少して37,205 ロットとなった。
- 買いポジションの総量は、過去15か月で最も多い数量
- 売りポジションの総量は9月7日までで、前週より3,040 ロット減少して、7,780 ロットとなり、この数字は過去5か月で最も少ない数字

7. アフリカ UPDATE: 収穫を間近に控えたトップ生産国に好天が訪れる（9/7）

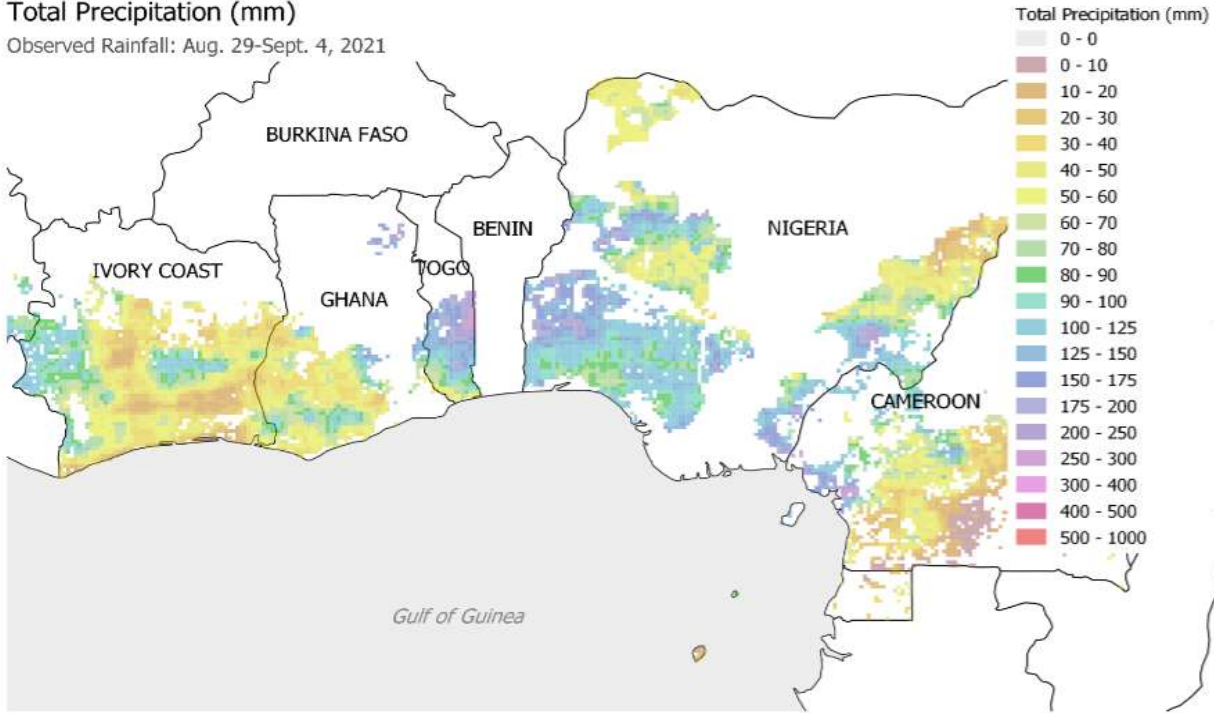
世界最大のカカオ生産国であるコートジボワールとガーナの農家は、来月のメインクロップの収穫を前に、雨と日照に恵まれていることに満足している。

コートジボワール西部の町 Bloléquin で農業を営む Alain Seha 氏は、「私たちは3週間後に始まるメインクロップの収穫を準備しています」と語ります。コートジボワール中央部の Bomizambo 付近では、雷雨により農園が被害を受けましたが、同地区で農園を営む Celestin Koaudio 氏によると、その影響は大きくないとのこと。

Weather Trends in West African Cocoa Growing Regions

Total Precipitation (mm)

Observed Rainfall: Aug. 29-Sept. 4, 2021



Source: aWhere, Inc.
Accessed Sept. 5, 2021

*9月4日までの1週間における西アフリカのカカオ生産地域の降水量。(資料：aWhere)

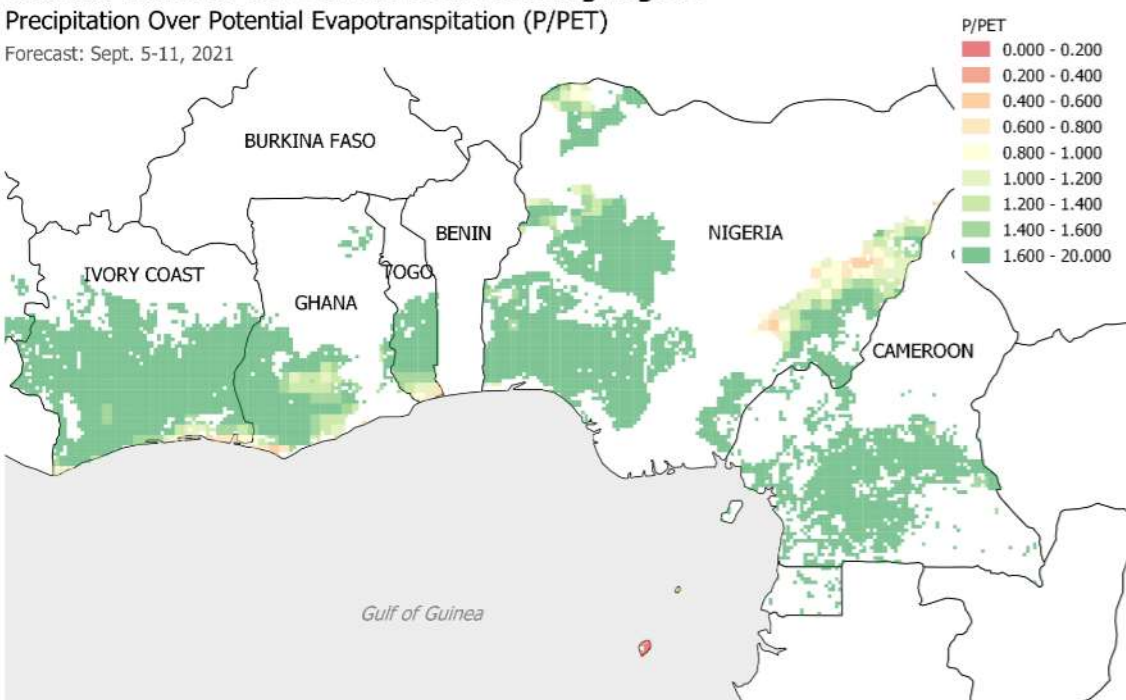
一方、カメルーンでは大雨により洪水が発生し、農場が破壊されました。リトラル州のカカオ農家である Eyound Simon Pierre 氏は、「カメルーンの他の地域でも活動が中断された」と述べています。

ナイジェリアの南東部と南西部では、ここ数週間で降雨量が増加しており、来るべきメインクroppに向けて良い兆候となっています。

Weather Trends in West African Cocoa Growing Regions

Precipitation Over Potential Evapotranspiration (P/PET)

Forecast: Sept. 5-11, 2021



Source: aWhere, Inc.
Accessed Sept. 5, 2021

*9月5日から始まる週のP/PET予報。P/PETとは、その地域の蒸発需要に対する降雨量の割合を示したものです。比率が1を下回ると、その期間に水分が不足することを示し、数値が低いほど作物へのストレスが大きいことを意味します。（資料 aWhere）

8. コートジの8/30-9/5の1週間カカオ着荷数量 12,623 トン、合計で242万トンに (9/6)

政府のカカオ業界のデータに詳しい関係者によると、コートジボワールの農民は先週、12,623 トンのカカオを港に送った。前年の同じ週の集荷数量は9,897 トン。また、10月1日にシーズンが始まって以来の総到着数は2412 トンとなり、これは今シーズンの事前予測であった228万トンを大きく上回る数字。

下記は、同国内でのカカオ豆を輸出及び加工用に買い付けた企業の上位リストである。

*期間は20年10月1日から21年9月5日までを反映。

会社名	購入数量(トン)
カーギルグループ	347,612
アウトSPAN(オーラムグループ)	301,664
Saco社	249,498
Touton 社	168,386
S3C 社	165,462
その他企業	1,192,823
合計	2,425,445

週刊カカオニュースの配信の削除、ご依頼については、下記アドレスまでご連絡願います。

株式会社 立花商店 生田 w-ikuta@tachibana-grp.co.jp

*本ニュースの相場情報は、客観的なデータの報告及び、著者の主観的な意見を述べるものであり、一切の取引の推奨を目的としたものではありません。カカオ先物、及び現物の取引におかれましては各個人様、法人様のご判断に基づいて行って頂きますようお願い致します。